

文化芸術そのものの価値の向上

日本人のアイデンティティの確立

文化力＝経済力・外交力の基盤

国自らの責任において文化芸術を振興**基本的な考え方**

- ①国民が文化芸術を創造し、享受することができる環境を整備
- ②文化芸術の果実の積極活用により幅広い分野への波及効果を確保、我が国の成長を促進
- ③国、地方、民間、個人など社会を挙げて文化芸術への投資を拡大

六つの重点戦略 ～「文化芸術立国」の実現を目指して～**戦略1 支援の在り方の抜本的見直し**

- ◆文化芸術団体への新たな支援の仕組みの導入
- ◆民間・個人の投資拡大、「新しい公共」の活動支援
- ◆「日本版アーツカウンシル(仮称)」の導入検討
- ◆地域拠点への支援拡充、法的基盤の整備検討
- ◆美術品の国家補償制度の導入
- ◆国立の文化施設の運営見直し

戦略2 創造し、支える人材の充実

- ◆文化芸術を創造する芸術家の育成支援の充実
- ◆文化芸術を支える専門的人材の育成・活用支援
- ◆文化財を支える技術・技能の伝承者への支援充実
- ◆大学等関係機関との連携強化

戦略3 子ども・若者向け施策の充実

- ◆芸術鑑賞機会、伝統文化等に親しむ機会の充実
- ◆コミュニケーション教育をはじめ芸術教育の充実

戦略4 次世代への確実な継承

- ◆文化財の修理・防災対策の計画的推進
- ◆文化財の公開・活用の促進
- ◆アーカイブ構築の着実な促進、積極活用策の検討

戦略5 観光・地域振興等への活用

- ◆文化芸術資源の観光・地域振興等への活用
- ◆新たな創造拠点の形成支援、地域文化の振興奨励
- ◆文化芸術活動の成果による創造産業等の振興
- ◆衣食住に係る文化をはじめ「くらしの文化」の振興

戦略6 文化発信・国際交流の充実

- ◆海外公演、国際共同制作等への支援充実
- ◆中核的国際芸術祭の国内開催、海外フェスティバルへの参加支援、メディア芸術祭を世界的祭典への参加支援、メディア芸術祭を世界的祭典へ
- ◆文化発信・交流拠点としての博物館等の充実
- ◆文化財分野の国際協力の充実
- ◆東アジアにおける文化芸術活動の推進

各分野の重点施策

舞台芸術

メディア芸術
映画

美術

くらしの文化

文化財